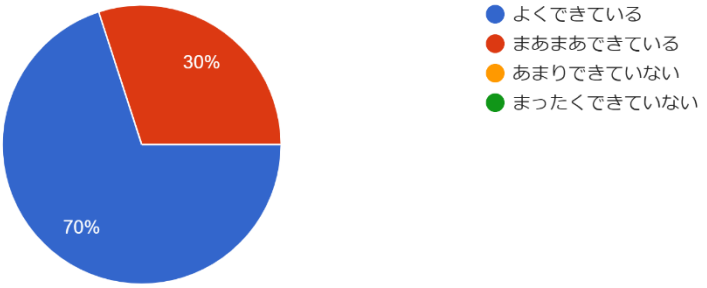
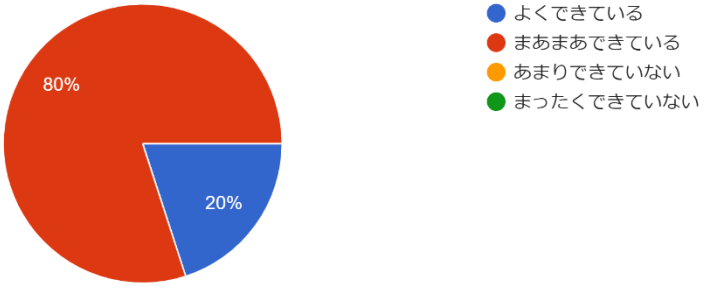
2022 年(令和4年)度
かほる保育園自己評価

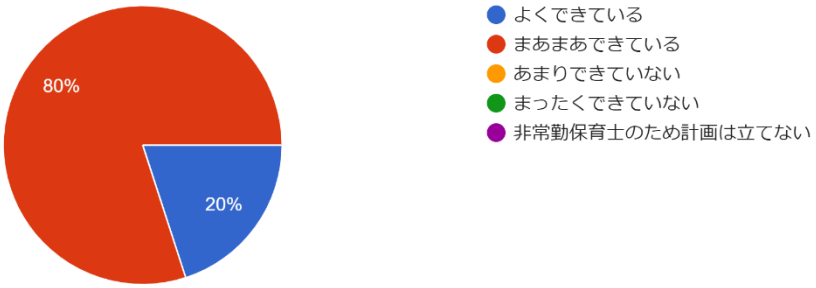
【保育の計画性：理念】園の保育理念や保育・教育方針を理解し共感している
10 件の回答



【保育の計画性：理念】園の保育理念や保育方針について保護者に説明できる
10 件の回答



【保育の計画性】指導計画（ポートフォリオ）はこどもの興味関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮して作成している



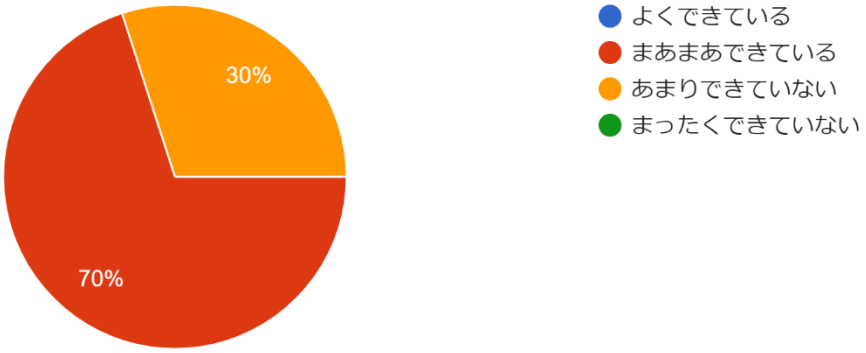
➡保育計画で良くできていると思ったことを入力してください。

●その日その時の子どもからの発信も大切にしつつ、見通しをもって保育すること。
●ポートフォリオで子どものことを振り返りながらどんな遊びを取り入れたいか、今の課題は何かなどを考える機会にできたと思う。
●年齢ではなく、一人ひとりの子どもの姿から大切にしたいことを考えるように努めた
●記録を通してひとりひとりがどんな事に興味を持ち、何を楽しんでいるのかを考え、振り返るきっかけになった。
●子どもたちの日々の姿や遊びの様子を分かりやすく伝えられるように、ポートフォリオにエピソードを交えて細かく書くようにしました。
●ぶどうゼリー作りではあまり計画や準備するものを事前に書かずに進めてしまったので、バタバタしてしまうこともあったが、アイス作りではゼリー作りの反省を生かし、事前に工程や準備するものを紙に書き出しシュミレーションした事で、スムーズに進めることが出来たように感じる。
●子どもの現在の姿をもとに次の月のねらいを考えたり先を見て環境を考えることができたと思う。
●子どもの育ち、興味関心を捉えて作成することができた

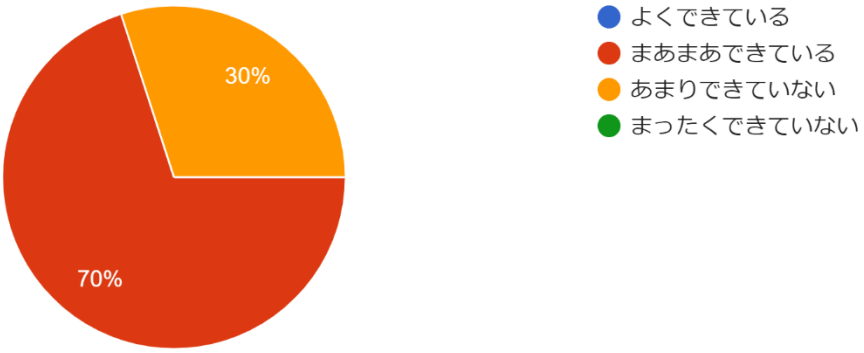
➡保育計画でこれからの課題とおもったことを入力してください

●この日はこれをしようなどもう少し職員間で共有するとよかったと思う。
●週案の反省をみんなで書いてるので上手く活用できていないと思った。
●幼児クラスになり、子ども達の行動範囲も広がるので、一人ひとりの姿や興味のあるものを見たり、気づけるようにしていくこと。
●少しずつ改善されてきてはいるが、時折自分の今までの生活の中で重きを置いてしまっているものがふとした時に出てきてしまい、子どものやりたいことを止めてしまうことがあること。
●振り返るだけで、その先の遊びへの展開ができていなかった。また、自分だけでなく、他の人とも共有していくことも課題だと感じている。
●計画を立てて保育をするのがまだまだ苦手なので、子どもたちの発達や遊びの様子から、計画を立てて、しっかりと準備をしながら日々の保育に挑みたいです。
●これまでの生活を振り返るだけでなく、もっとこの先の姿にも目を向けながらポートフォリオを書いていきたい。
●子どもの遊びの意味や心の面などについても見通しを持って保育者にも共有できたらと思う。
●遊びや生活の流れなど、子どもたちがよく分かっていないまま過ごしている場面が見られたので、保
●育者が一緒にやってみたり伝えたりして子どもたちが分かるようにこれからの生活の見通しをもちながら過ごしていきたい。
●一つの遊びや経験から、どのような学びがあるのかをより深くていきながら作成すること

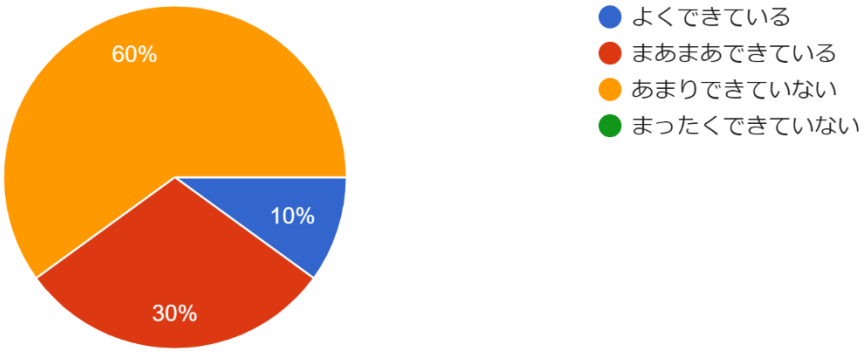
保育の計画性】指導計画に基づいて、子どもが自ら関わりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている



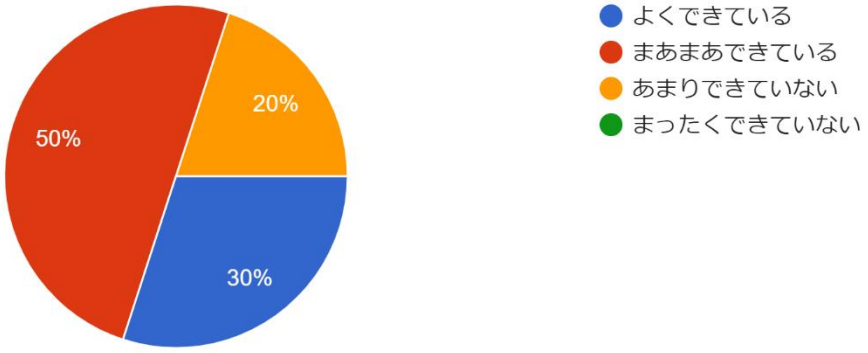
楽しい雰囲気の中で、遊び込める様に玩具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている
10 件の回答



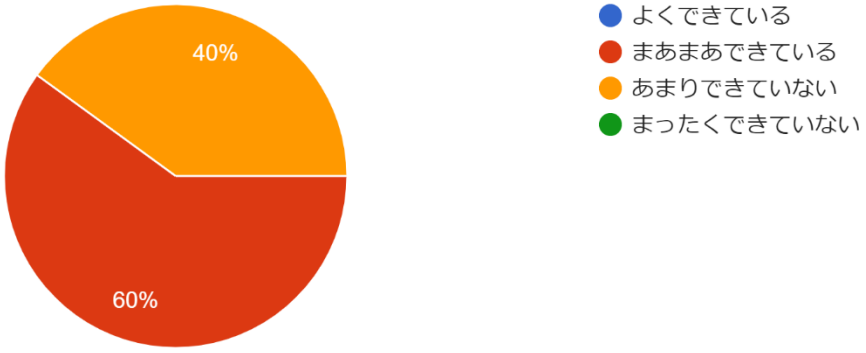
子どもの発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている
10 件の回答



探索を保障する時間と空間を確保している
10 件の回答

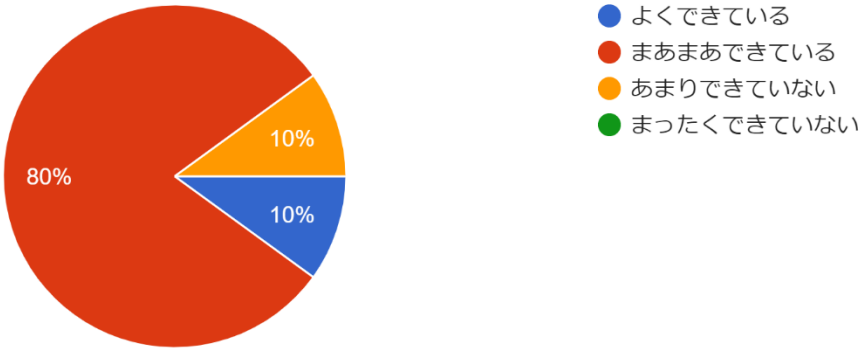


子どもの遊びがより豊かになるように子どもたちの発想を柔軟に取り入れ、遊びの展開に応じて環境を再構成している



異年齢の子どもが自然に交流できるような環境構成をしている

10 件の回答



➡環境構成で良くできていると思ったことを入力してください

●いつも環境をどうしたらいいか考え続けていること

●子どものしている遊びを見て、どんな環境を取り入れたら遊びが広がるかを考えて構成できたと思う。

●子ども達の発達によって興味を持っているもののおもちゃの数を増やしたり、取り合いにならずに友達と同じ遊びを楽しめるように数や量をその都度調整したこと。

●その季節にあった自然物を取りいれて、多くの自然に触れる機会を作れたことがよかったと感じる。

●月齢も離れている子が多かったので、それぞれの発達に合わせて遊び方を考えたり、道具を用意したりすることを意識しました。

●子どものくつろげる空間を守ることを意識した。

●子どもの育ちに合わせて玩具を作ったり、危険な箇所などについても保育者間で相談しあったりすることができた。

●子どもたちの遊びや探索の時間、空間をなるべく確保できるようにみんなで連携しながらできたと思う。また、異年齢の子たちとも関わり合いながら遊びを楽しめるようやりとりを見守ったり仲介をしたりして過ごせたように思う。

●子どもが過ごしやすいよう環境を考えて整えた

➡環境構成で課題と思ったことを入力してください

●手作りのおもちゃがあまりなく、経験して欲しいことをもっと追求すればよかった。

●たまに環境に変化を加えていたが、定期的に出来なかった。もう少し発達を見越した環境作りをすれば良かった。

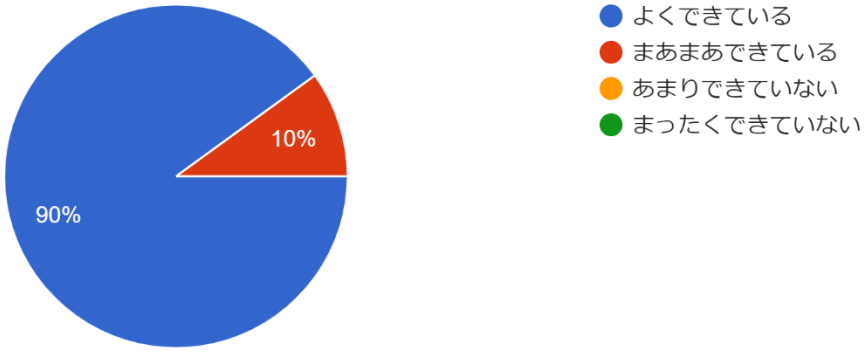
●身体の使い方が同じような動きになる遊びばかりになっていたように思えたので、もっといろんな動きを誘える環境構成をつくれるようにしたい

●子どもの姿が変わって行った時に環境を変えることができていない。十分な素材など準備できていない。その時の子どもたちの様子で環境を変えていたが、変化が少なかったように感じる。より発達や遊び方に応じた環境構成を考えていきたいと思った。そのアイディアが出てこないのが課題だと感じる。環境の本などを読んで環境構成を勉強していきたいと思う。

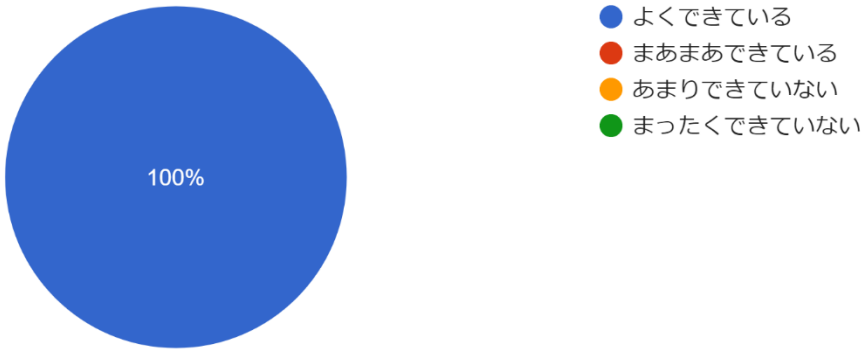
●子どもたちの遊びを更に広げたり、続けていくための工夫ができていなかったので、共に考えていく中で、どのように発展させていくかある程度の見通しをもって環境をつくっていきたいです。

●環境構成に関してはまだまだ消極的になってしまい、周りの先生に頼ってばかりであるのと、子どもが自ら関わりたくなるような環境構成ができていないと感じている為、今後は失敗を恐れずに積極的に計画、環境構成をしていきたい。
●季節感に合わせた環境構成があまりできなかったと思うので、これからは季節感を意識していきたい。
●お部屋の環境があまり変えられていなかったり子どもたちに合わせた環境を作れていなかったと感じる。また、今までよりも人的な環境も気にかけていけるようにしていきたい。
●幼児クラスと一緒に過ごす中で、2歳児の生活や遊びを保障することが難しく感じた
●子どもの発達や興味に合わせて玩具を用意したり、環境を変えていくことが足りていなかったと感じる

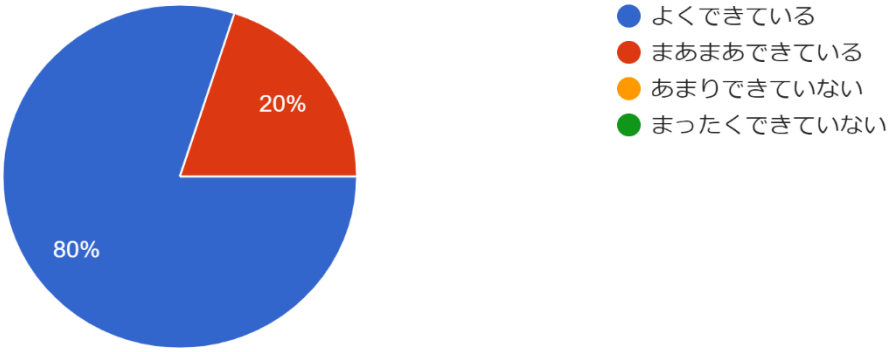
【子どもへの対応：健康と安全への配慮】保護者からの健康状態などの情報を職員間で共有し、アレルギー熱性痙攣等既住症について把握している



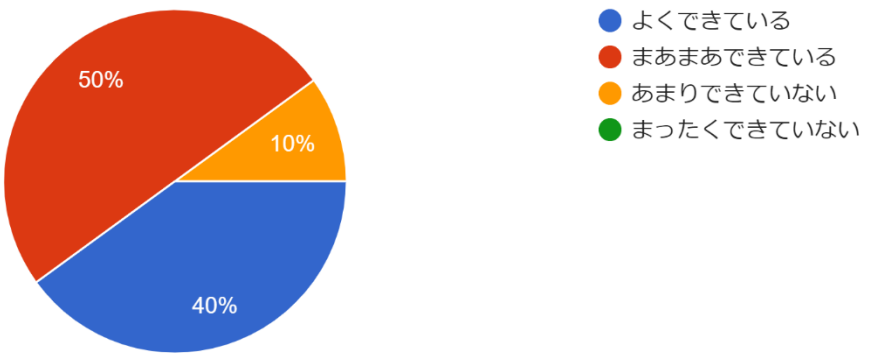
【こどもへの対応：健康と安全への配慮】朝の登園時は家庭からの連絡をもとに健康状態を確かめている



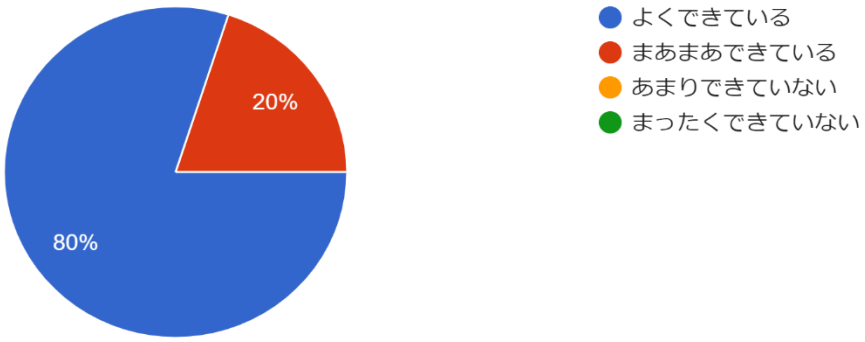
【子どもへの対応：健康と安全への配慮】体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温するなど適切な処理を行いすぐに家庭へ連絡している



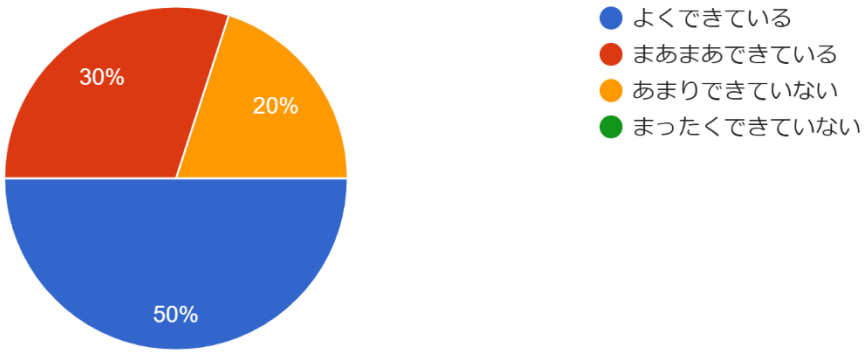
【子どもへの対応：健康と安全への配慮】一人ひとりの排泄感覚を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、おむつ交換したり、トイレに促している



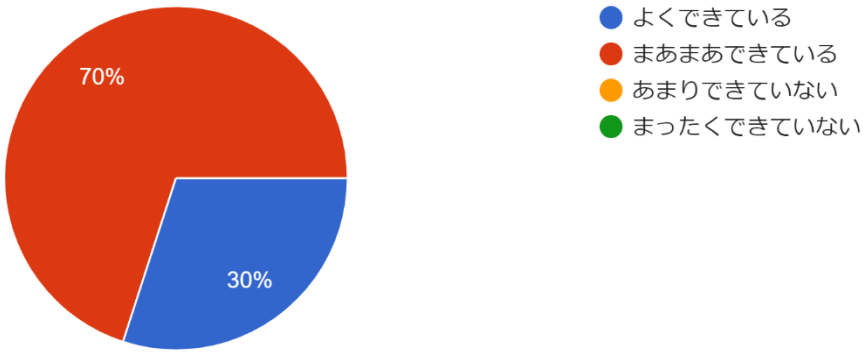
【子どもへの対応：こども理解】子どもを理解しようと考え続けている



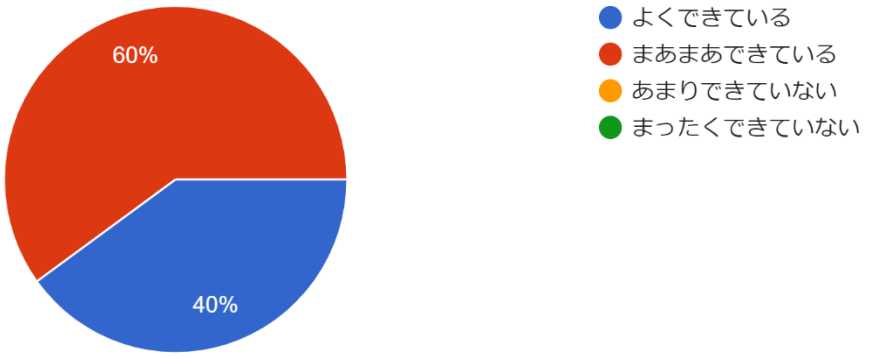
【子どもへの対応：こども理解】子どもと自分自身の関係性を考えることができる



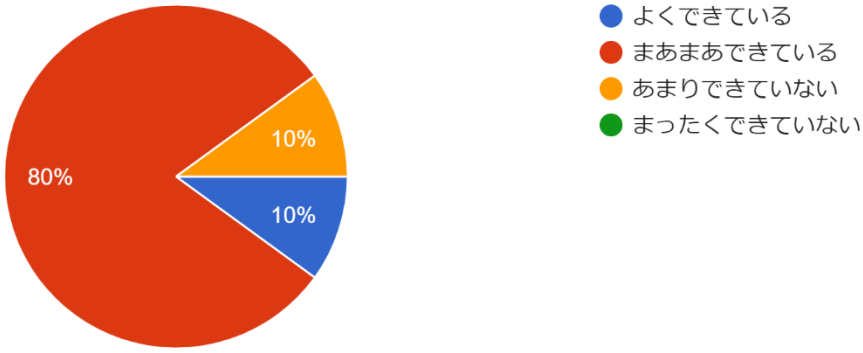
【子どもへの対応：こども理解】子どもの話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察して受け止めている



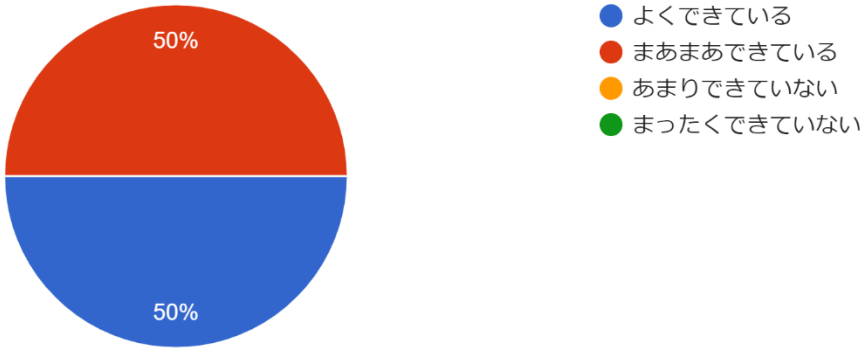
【子どもへの対応：こども理解】一人ひとりの特性を理解したうえで子どもと関わっている



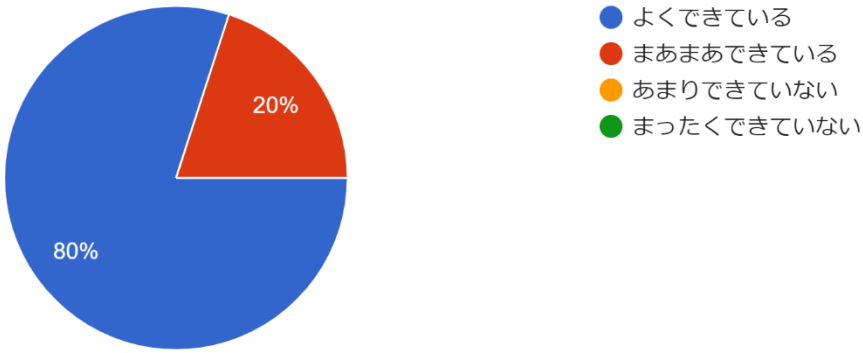
【子どもへの対応：こども理解】一人ひとりの発達課題について見通しをもって保育している



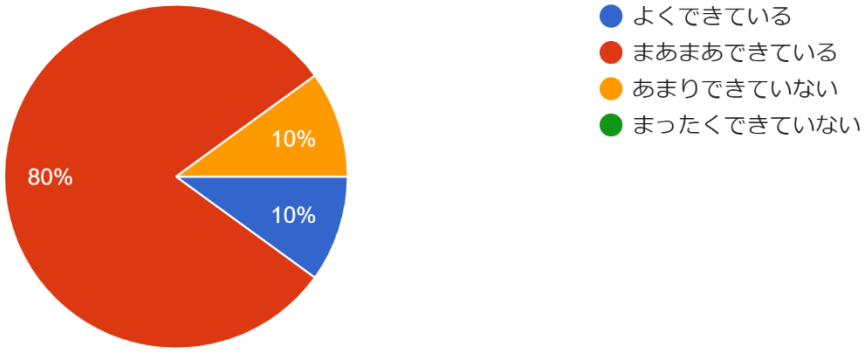
【子どもへの対応：こども理解】一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受け容れ認めるようにしている



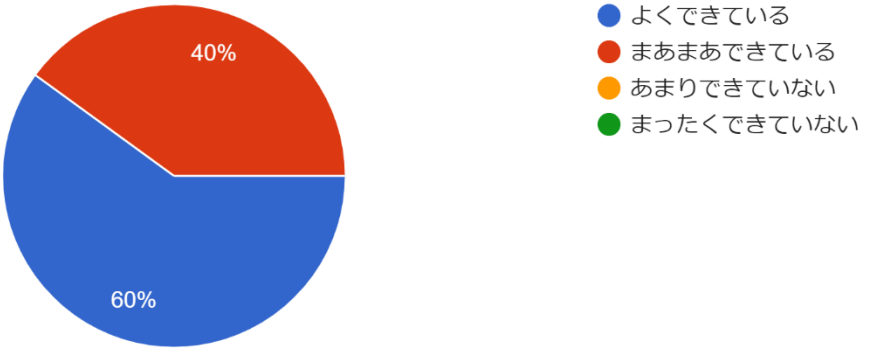
【子どもへの対応：こども理解】子どもとの温かなやりとりやスキンシップを常に心がけている



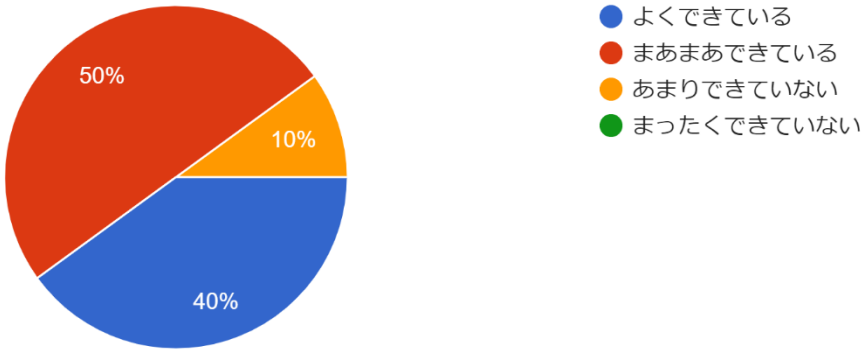
【子どもへの対応：こども理解】子どもの遊びが深まっていくためのヒントやアイデアを提供している。または一緒に考えている。



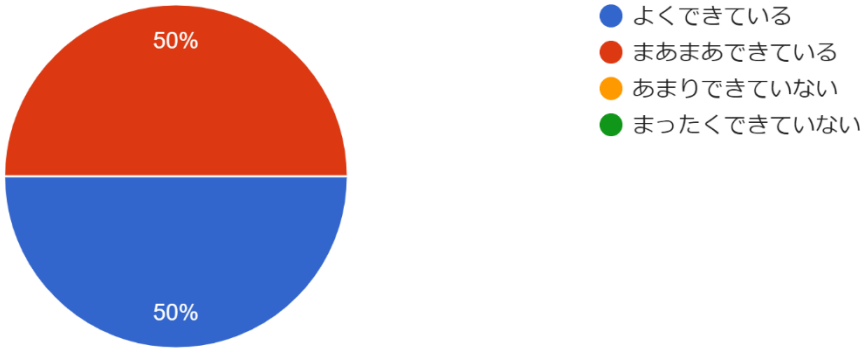
【子どもへの対応：こども理解】禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている



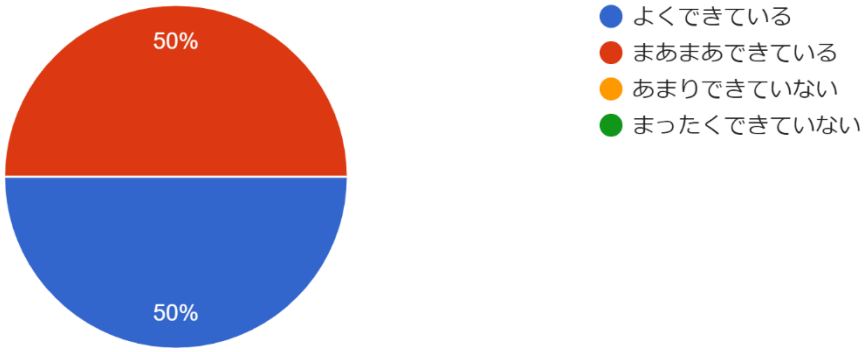
【子どもへの対応：こども理解】家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている



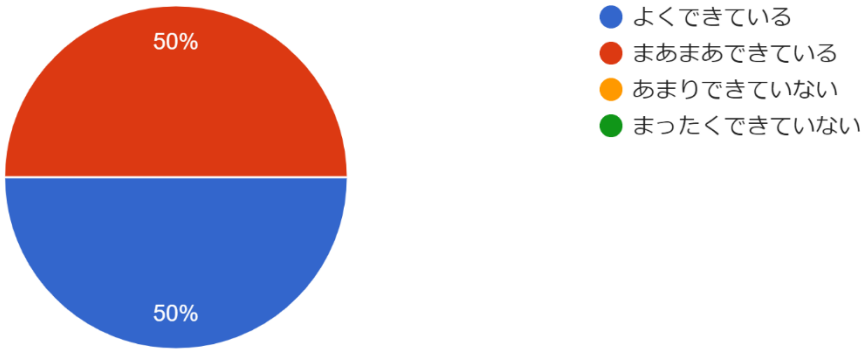
【子どもへの対応：こども理解】子どもがどんな世界に生きているか理解しようとしている



【子どもへの対応：保育者の効力、連携】クラスに関係なく、その場にいた保育者が子どもに関わっている。また情報を共有している



【子どもへの対応：保育者の効力、連携】配慮が必要な子どもについて、園全体で共通理解をもって、工夫し対応するようにしている



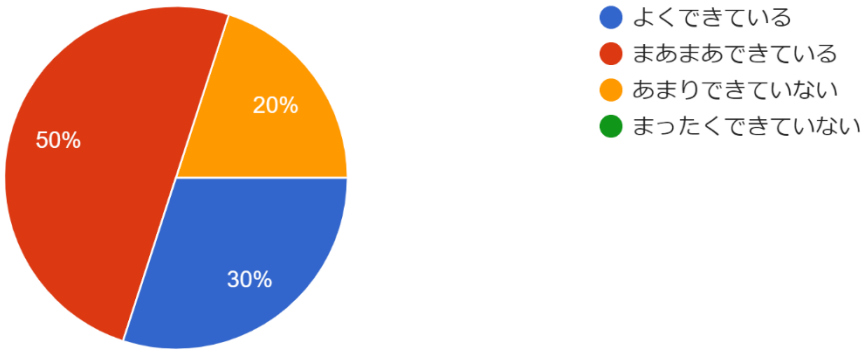
➡【子どもへの対応】よくできているとおもったことを入力してください

●配慮が必要な子や気になる様子がある子どもにはみんなで話し合ったり、臨床心理士の先生に相談して考えたりしていること。
●その子が何を考えているのかなど１度立ち止まって考えるようにしている。
●目の前の子どもが困っているときなど、大人の思い込みで動かずに、気持ちを聞きながらその子のペースを尊重して関わるようにしている
●子どもの体調の変化、普段の様子と比べて気づくこと。
●昨年よりも、保育者同士の連携が取れるようになったと感じている。日常的な事でも、子どもたちがこんなことをしていたという話が気軽にできるようになり、それがきっかけでその子の新しい一面を知ることができた。これからも保育者同士連携を取り合い子どもへの理解を深めていきたい。
●子どもたちが安心して生活できるように、それぞれの子に合わせた声かけや関わりを意識しました。
●姉弟がいる子どもには、家での状況や姉として我慢している、頑張っているということに気づき、共感していった。
●子どもの見ている世界を一緒に見て一緒に感じることを心がけて行えたと思う。
●子どもとのスキンシップややりとりを大事にしたり、言葉では伝えられない思いを言葉にしながら過ごせたと思う。また、保育者間での子どもたちの様子も共有できたりと連携もうまく取れていたように感じる。
●子どもの思いを汲み取ったり、気持ちに寄り添ったりして丁寧に関わることができた。
●一人ひとりの特性を理解しようとし、その子が何を考えているかを考え、向き合うことに努めた。

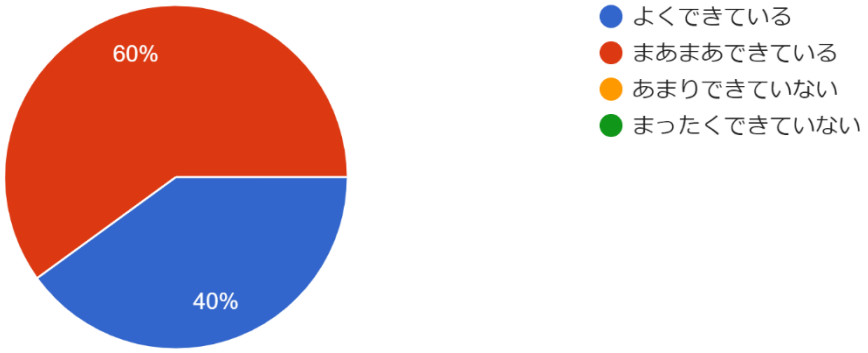
➡【子どもへの対応】課題だと思ったことを入力してください

●家庭へ伝える際に丁寧に説明したり、わかりやすく且つ子どもにとってどんな体験になるのかを専門的に伝えること。
●して欲しいことをしてくれなかった時(片付けや落ち着いた食事など)ついカッとなってしまうこともあり、あとから反省する時があった。
●まだ幼児クラスの子ども達との関わりが少ないので、沢山遊んだり話したりしながら、一人ひとりと関係を築いていきたい
●同じフロアで生活する中での情報の共有。
とっさの声かけが苦手だと感じている。子どもたちの行動の意味を考えず声をかけてしまうことが多いのが課題だと思う。普段は、ワンクッション置いて、声を掛けるようにしているが、とっさとなると自分の思いがついつい口に出てしまう。日々の保育を振り返りながら、その子はこんな気持ちだったのかなと考え、一言目の声かけのタイミングや質を高めて行きたい。
●それぞれの子に合わせてゆったりと関わることを意識しましたが、それでも集団で生活していく中で時折意識が向かなくなってしまうこともあったので、全体に視線を向けながらも、一人一人を丁寧に見ることができるようにしていきたいです。
●全部自分のせいにしてしまい、その子がどういう状況でこのようになってしまったのか、どういう心情だったのかということに目を向けることが出来なかった。
●子どもとの関わり方や声のかけ方など、受け止めることはできていたが、異年齢だからこそのものの取り合いややり取りの中で言葉に困ってしまうことがあったので、リフレクションなどを活用して振り返っていけたらと思う。
●子どもたちとのやりとりの中で自分視点の考え方になっていたりすることがあったり、子どもの目線から見れていないこともあったりした。子どもの目線から物事を考えたり心にゆとりを持って関われるように努めていきたい。
●子どもの世界を一緒に面白がり、次の遊びに繋げたり提案したりすること

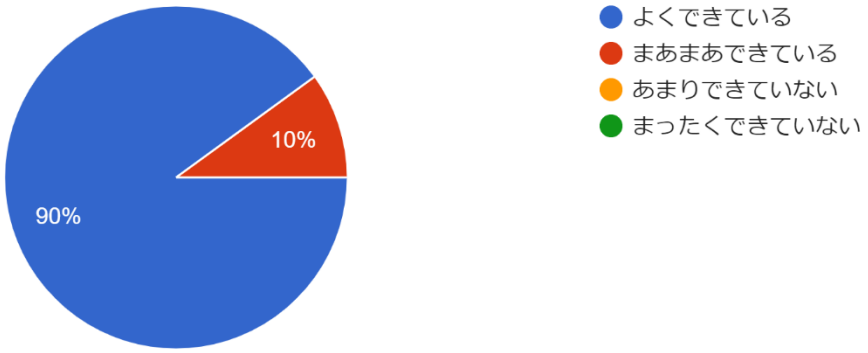
【保護者への対応・守秘義務】一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している



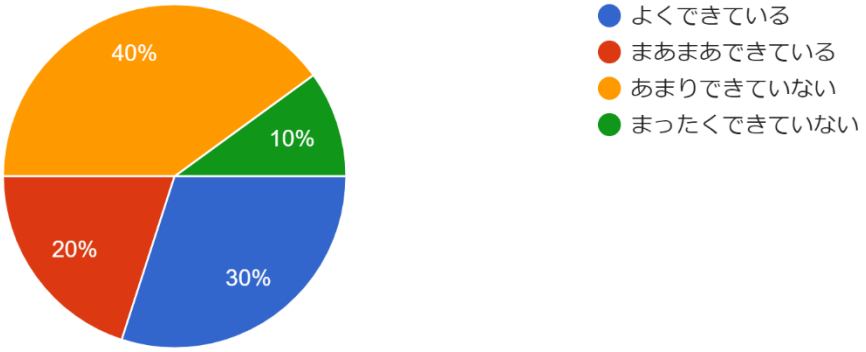
【保護者への対応・守秘義務】保育参加や保護者面談を行い、子どもについて保護者と共通理解するように努めている



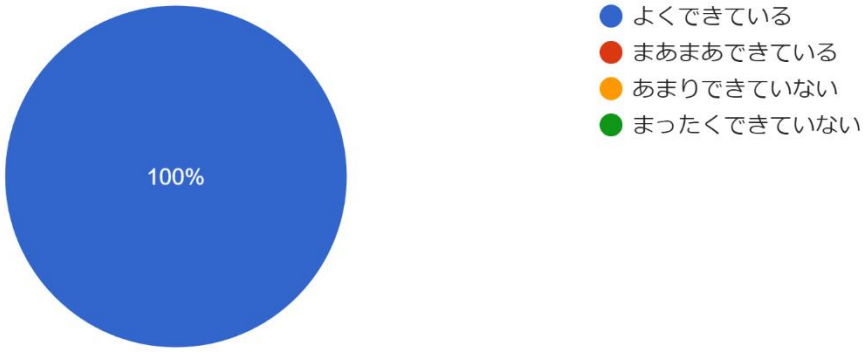
【保護者への対応・守秘義務】保護者からの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、園長等（クラスの保育者含む）に報告や相談をしている



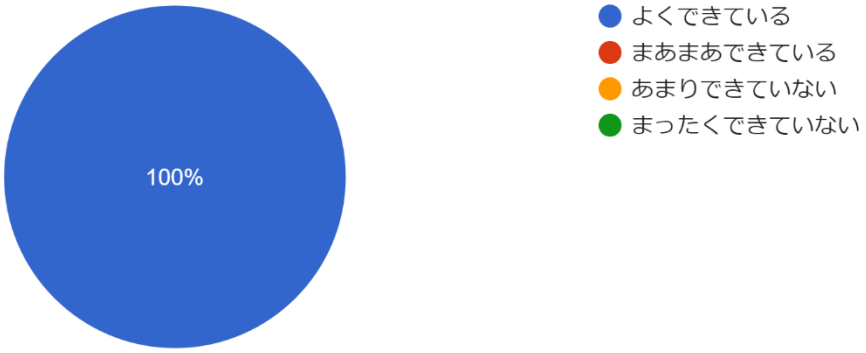
【保護者への・守秘義務】必要な場合は自園の苦情解決システムにて保護者に説明できる



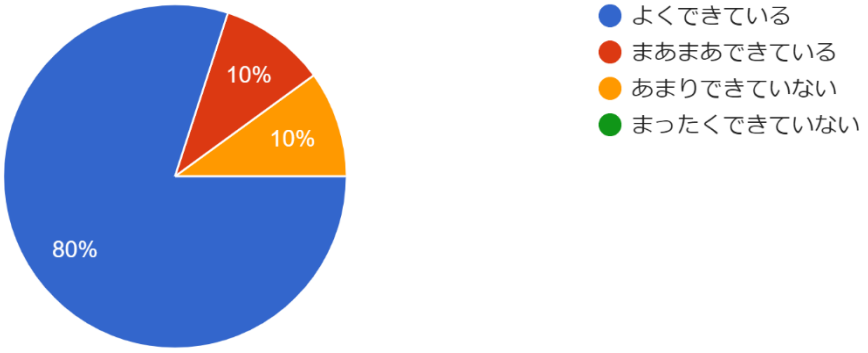
【保護者への対応・守秘義務】職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしてはいない



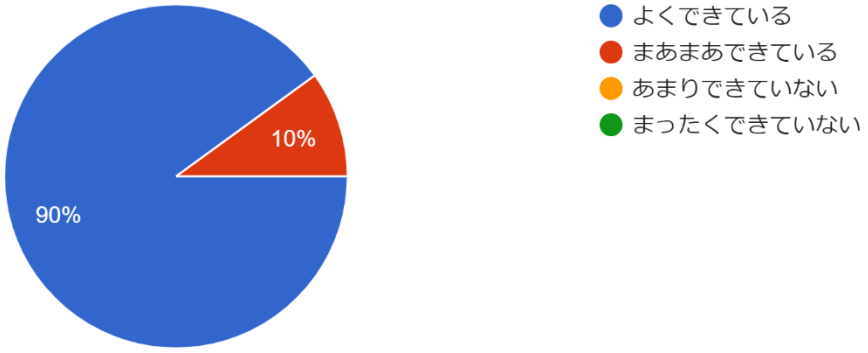
【保護者への対応・守秘義務】秘密情報（保護者・園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術、保育計画等の情報）については園長の許可なく使用、開示、漏洩していない



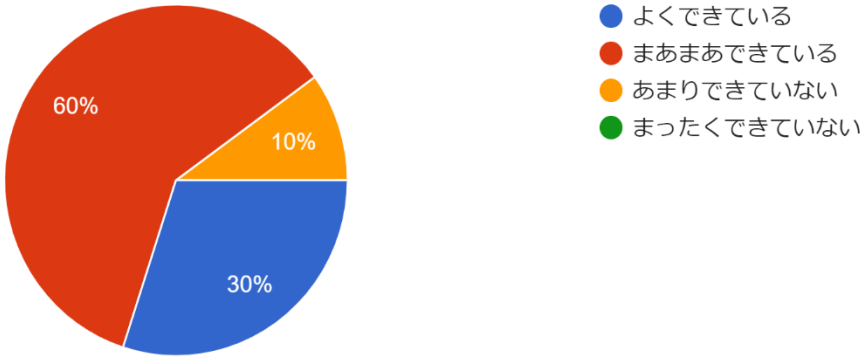
【保護者への対応・守秘義務】秘密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データはもちかえらないようにし、どうしても必要場合は園長に持ち出しの許可を取っている



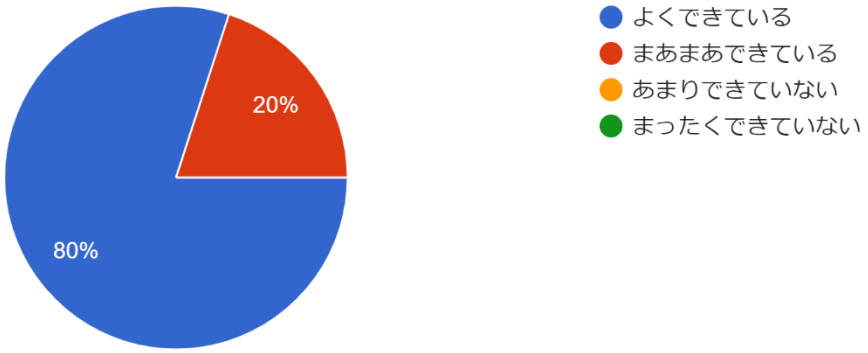
【保護者への対応・守秘義務】秘密情報について新たに知りえたことについては、ただちに園長等に報告している



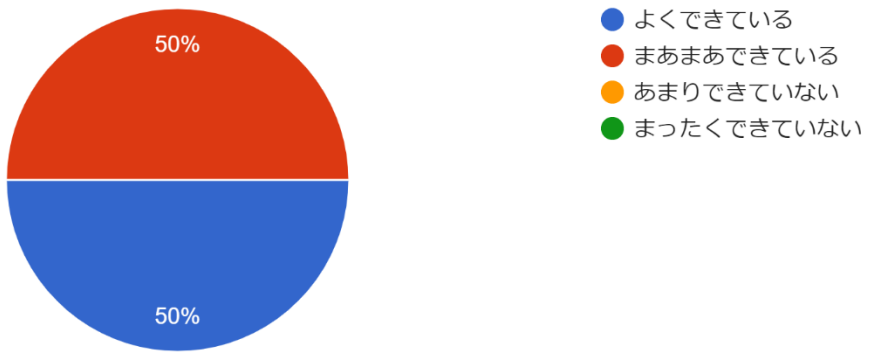
【保護者への対応・守秘義務】正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている



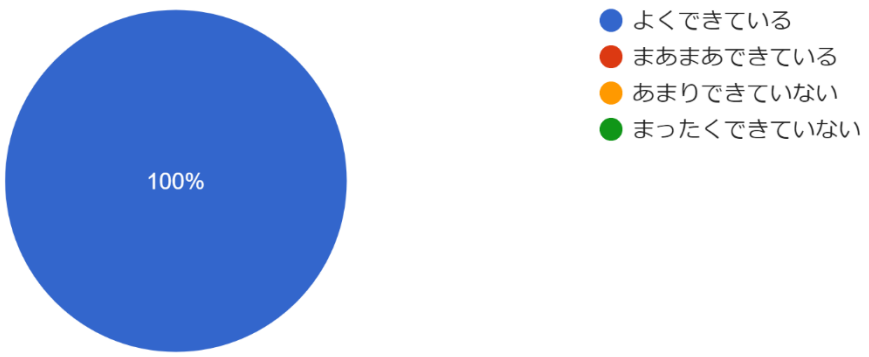
【保護者への対応・守秘義務】親しくなったからといっても、友だち同士のような話し方をしていない



【保護者への対応・守秘義務】電話では簡潔に要領よく対話する事を心がけている



【保護者への対応・守秘義務】保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障碍、個性差によって、区別、差別していない



➡保護者への対応・守秘義務についてよくできていると思ったことを入力してください

●それぞれの家庭に合わせた対応をすること。守秘義務はしっかりと守ること。

●言葉遣いや保護者からの相談など細かいことも他の職員、園長と共有するようにした。

●日常の会話の中で、子どもの姿を一緒に見守っていきたくなるような話をしたり、困っていることを一緒に考えながら、関係を作るように努めている。

●保護者からの意見を共有、対応すること。

●忘れぽいことが多かったため、聞いたことはすぐメモにとり、クラスの保育者に伝えることができた。

●保護者の方から伝えられたことや、相談されたことについて、担任間で共有して対応に差ができないように全員で話をしました。

●秘密情報を漏らさないこと

●保護者の相談事や気になることなどは保育者間で共有し丁寧に対応するよう心がけた。

●保護者からの相談や意見など伝えられたことを職員間でその日のうちに共有できていたように思う。また、

●保護者とも子どもの様子について話したりしながら過ごせていたと思う。

●保護者からの話があった際には、相手の話を最後までしっかりと聞いて、他の職員にも共有することができた。

●お迎え時に子どもの様子を細かく伝え、家庭と連携することができた。

➡保護者への対応・守秘義務について課題だと思ったことを入力してください

●迎えの際にその日の子どもの様子が咄嗟にでてこず上手く話せないことが多い。

●幼児クラスの保護者の方とはまだ関わりの少ない保護者の方もいるので、少しずつ関係を作っていく

●漏洩することはないが、勤務時間内に終わらずに自宅に持ち帰って作成してしまっている。

●怪我やトラブルを伝える時早口になってしまうので、ゆっくり落ち着いて話すことを心がけたい。

●話す内容を簡潔に伝えることが苦手なので、相手にも伝わりやすく、受け取られやすい話し方を身につけていきたいです。

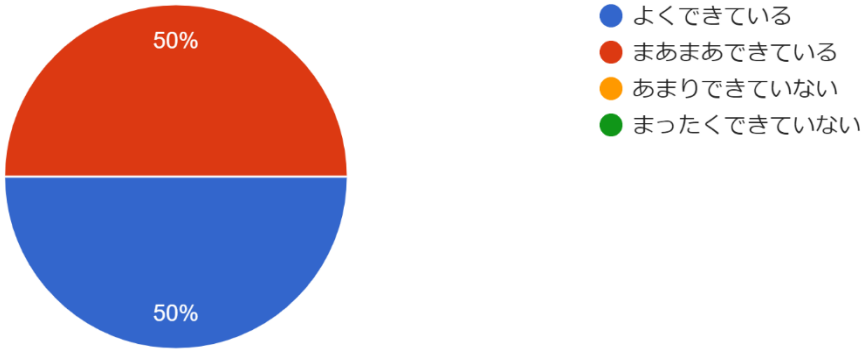
●説明力がなく、簡潔に分かりやすく説明することが苦手であるからか、上手く喋ることができない時があった。保育者同士でどのように伝えるか確認し、落ち着いて話せるようにしたい。

●苦情解決システムなどは説明できないので課題だと感じた。

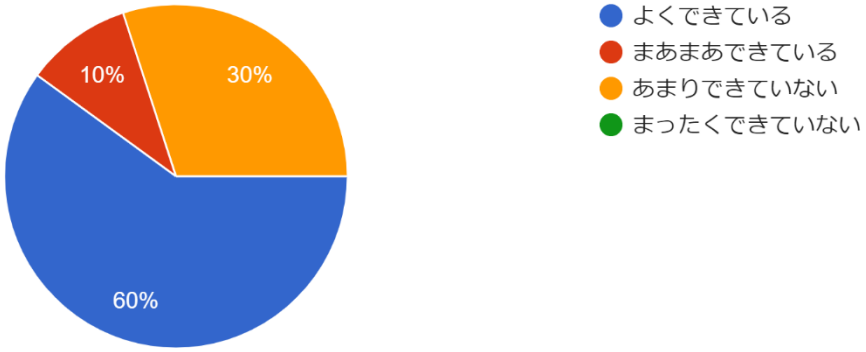
●保護者への説明がうまくできておらず噛み合わないこともあった。簡潔に分かりやすく伝えられるよう努めていきたい。

●保護者から相談を受けた時に、応答に困ってしまったり悩んでしまうことがある。特に発達面に関しては、自分の知識不足であることを反省した。

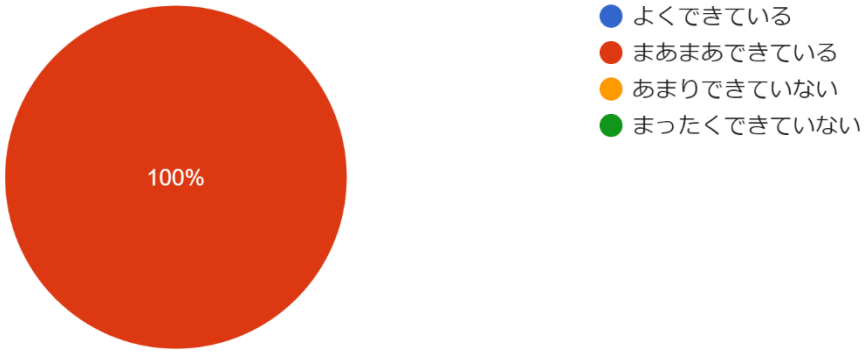
【専門性に関する研修・意欲・態度】研修には自己課題をもって参加しいる



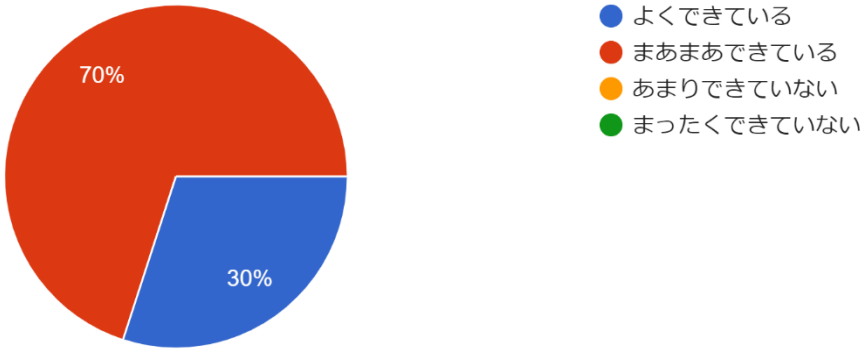
【専門性に関する研修・意欲・態度】自分の保育については自己課題をもって、保育の在り方や悩みについて他保育者と話し合っている



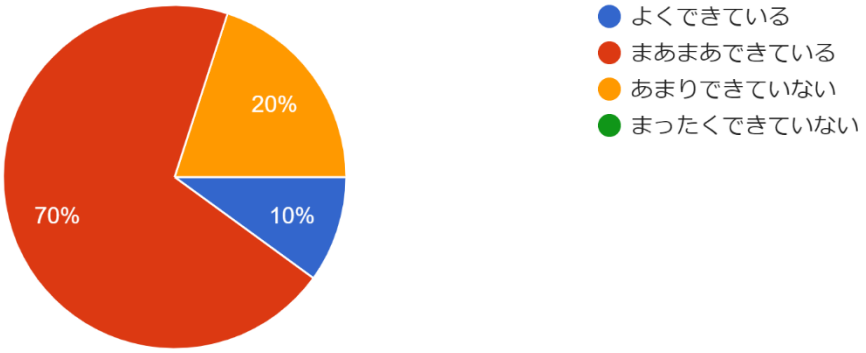
【専門性に関する研修・意欲・態度】園の玩具や教材・園庭遊具についてその特徴や基本的な使い方を知っている



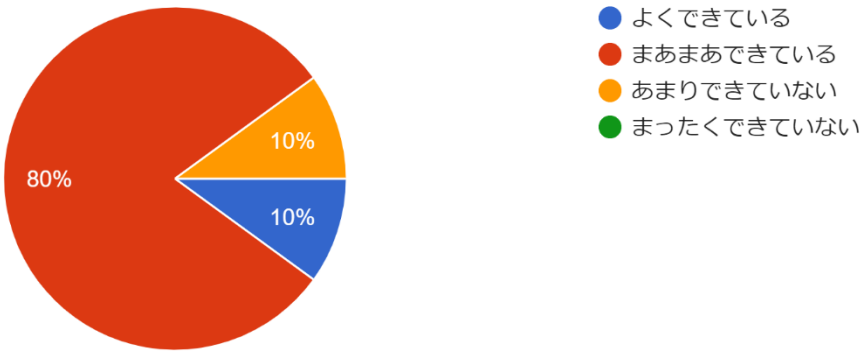
【専門性に関する研修・意欲・態度】園の玩具や教材・園庭遊具についてどのような使い方が危険かを予測できる



専門性に関する研修・意欲・態度】園の玩具や教材・園庭遊具がなぜ選ばれているのか説明することができる



【専門性に関する研修・意欲・態度】園庭や田畑、砂場、こどもが隠れる場所や位置、広さなどがどのような教育的意味をもつのか理解し、保育に生かしている



➡【専門性に関する研修・意欲・態度】研修でよくできていると思ったことを入力してください

●学びたい意欲はいつもあること。

●ほかの園を見ながら自園ではどんなことが出来るかなど考えながら参加した。

●子どもの心・環境構成など、偏らずにいろんなことを学びながら、保育に活かせるようにしている

●気になる研修に対して参加しようとする。

●園見学に行った際、環境や人の動き声の掛け方などさまざまな視点をもってじっくり観察できるようになった。

●研修に参加させていただくにあたり、自分の保育や、園の方針などと照らし合わせて、どのように活用していくかを考えながら受けました。研修後にも、自分の考えをまとめるようにして、毎日の保育のなかで活かしていけるように考えました。

●自己課題を持ちながら取り組む。

●研修をもとに保育を振り返ることができ、学んだことを実践でやってみたり照らし合わせてみたりすることができた。

●自身の課題を見つけ、研修を受けることができたように思う。研修での話し合いでは他園との交流もでき、より充実した研修になったように思う。

●研修で学んだことを自分の保育に活かしている

➡【専門性に関する研修・意欲・態度】研修でこれからの課題と思ったことを入力してください

●アウトプットを自分の言葉ですること

●様々な研修に積極的に参加する。

●心に残ったことなど、一つずつ実践におとしていく

●自分の中で何が足りないのか、いま一度振り返り、学ぼうとする意欲が足りない。

●話を聞いただけで、実践はできてないように感じる。いいなと思ったことで、真似できるところは真似して、

●真似できないところはこんな園もあるんだなと知るきっかけにしていきたい。

●研修で学んだことについて、自身の中で完結していて、発信をしてこなかったので、他の先生と話し合ってみたり、実践を通して園の保育に還元していけたらと思います。

●周りの先生と子どもの姿や遊びについて話す時間が取れなく１人で考えることが多かったため、もっと周りの先生と話す時間を作ったり自分から積極的に語れるようになりたい。

●研修で学んだことをみんなで共有し合えたら良かった思う

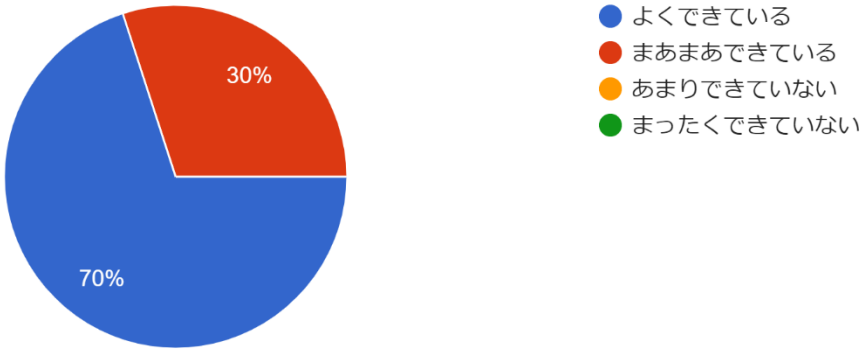
●子どもへの丁寧な言葉の掛け方など関わり方や保育の質を高めていくことが必要だと感じた

●研修を受けている時に疑問に思ったことそのままにしないこと。

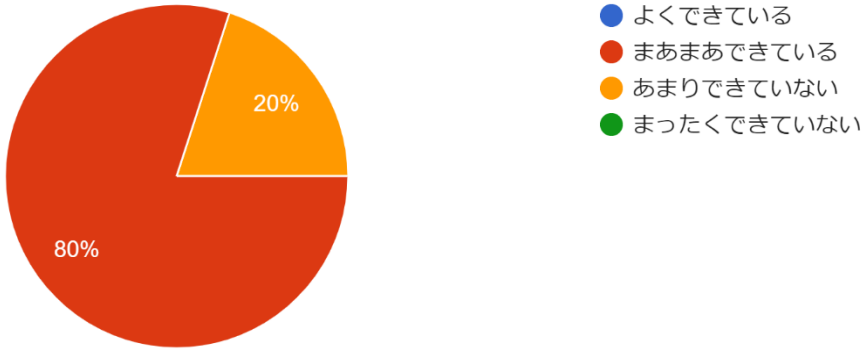
●ねらいをもって研修を受ける。

●学んだことを自分の言葉で残したり、周りの職員にも発表したりして共有する。

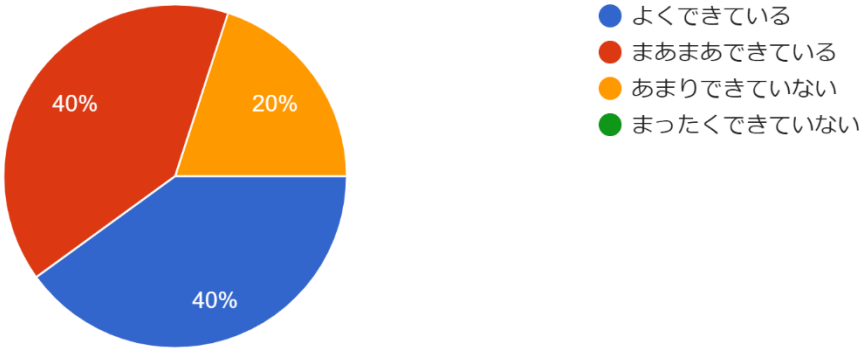
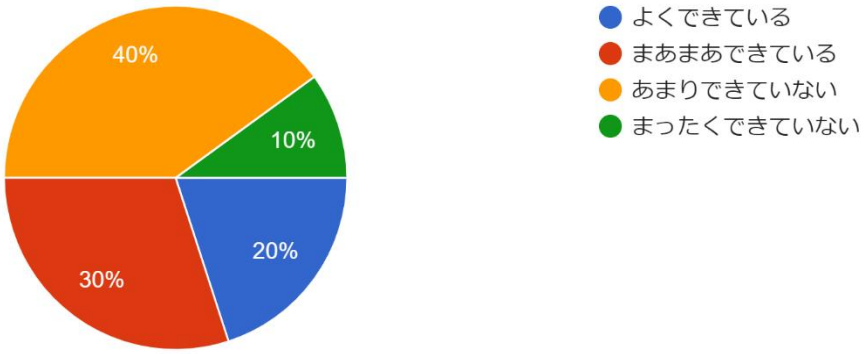
【地域の自然や社会とのかかわり】地域の人々と親しく挨拶や会話を交わしている



【地域の自然や社会とのかかわり】地域の自然を指導計画の中で位置づけて活用している



【地域の自然や社会とのかかわり】園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることを理解している



【地域の自然や社会とのかかわり】畑で収穫した野菜で料理など、地域の気候を生かした保育を実践している